

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



10月、(神無月 かなづき)。総会を無事終え、魯迅仙台留学120周年碑前祭開催準備に追われ、終わるとすぐ新春号の準備にかかる、神様にお手伝いを頼めたらと思う次第ですが、神様は出雲に出かけていらっしやるので、頑張るしかない。。。。。

1. 10月の行事予定

日時	行 事 名	場 所
10月6日 (日)	富谷宿「街道まつり」に出店 富谷市日中友好協会	富谷宿観光交流ステーション 「富谷土」他しんまち一円
10月26日 (土)	富ヶ丘公民館まつり 中国茶試飲、写真展示予定 富谷市日中友好協会	富ヶ丘公民館まつり
10月27日 (火)	全日本中国語スピーチコンテスト東北大会 青年委員会	日立システムズホール仙台 (仙 台市青年文化センター) 3F エッ グホール
10月28日 (月)	魯迅先生仙台留学120周年記念「魯迅先生逝去88周年碑 前献花式」13:30～ 東北大・市民の会主催	仙台市博物館中庭「魯迅之碑」 前
10月29日 (火)	東北大学主催「魯迅先生仙台留学120周年記念シンポジウ ム並びにレセプション」	東北大学「魯迅の階段教室並 びにホテル」

2. 宮城県日中友好協会定期総会について



8月31日(土)13:30～宮城県民会館602会議室で定期総会が開催されました。

第1部は吉澤千明青年委員会事務局長の司会の下、佐々木謙会長挨拶、来賓の柏燕秋新潟総領事館領事様、程鑫東北地区中国学友会会長様、若生裕俊富谷市市長様の方々から祝辞を賜り、当協会副会長で石巻地区日中友好協会白井省三会長から「中国駐在11年、中国ぶらり旅(ぶらり散歩)」と題して講演をいただきました。

※ 記念写真

終了後、参加者一同記念写真撮影後、第二部総会議事に移り、物故者への黙祷、お祝いメッセージ(宇都宮徳一郎日本中国友好協会会長様、村井嘉浩宮城県知事様、郡和子仙台市長様、安住淳衆議院議員様、高橋伸二宮城県議会議長様、伊藤康志大崎市長様、齋藤正美石巻市長様の皆様)披露があり、議長に茂庭邦宏仙台市日中友好協会事務局長を選出して、議事に移りました。

議事では報告1、2、3(2023年度・活動報告・決算報告・監査報告)が水戸理事長、高橋事務局長、菅井会計監査監事より報告され拍手で承認されました。

続いて、議題1、2、3(2023年度収支過不足金の処理案・2024年度事業・活動計画案・監事新任案・2024年度予算案)が水戸理事長、高橋事務局長から提案があり拍手で承認され議事を一切の議事を終了いたしました。

議長退任後、金井恭子副会長が閉会の挨拶を述べ総会を終えました。

総会閉会后は、2Fの東龍門に会場を移し懇親会が開催され、留学生や久しぶりに会う会員同士が懇親を深めました。

総会には50名が参加し議論を尽くし、懇親会には35名が参加し懇親を深めました。

3. 2024年度訪中団第二陣 随行報告書（オンライン交流推進委員会 平田 藍菜）



※ 歓迎レセプション



※ 中国伝統文化体験

9月3日から9日まで、大学生訪中団の随行で上海、成都、北京を訪問しました。

公社日中友好協会常務理事兼北海道日中友好協会理事長の佐々木政文団長をはじめ、随行8名、学生92名の100名で訪問しました。

連日午前9時前にはホテルを出発し、午後9時以降に帰宅するというスケジュールでしたが、体調不良者の続出や大きなトラブルに見舞われることもなく、無事に訪中を終えることができました。

初日の上海は雨予報でしたが、“晴れ男”佐々木団長のパワーで奇跡的に雨が上がり、地上546メートルに位置する上海タワーの展望台と夜の黄浦江クルーズ船からの景色を満喫。翌日には上海博物館で景德鎮の陶磁器等を見学、その後上海ディズニータウンで買い物を楽しみました。その後、飛行機の出発が3時間遅延しましたが、午後10時過ぎに無事成都に到着しました。

成都では、かの有名なパンダ繁殖研究基地を訪問し、愛くるしいパンダの姿に皆心を奪われていました。午後

には、古蜀文明遺跡の一つであり、約4000年前の青銅器が発掘された三星堆遺跡の博物館を見学。青銅器作り体験では、ウルトラマンに似た顔貌の青銅人形を各々作成しました。翌日は西華大学にて、今回初めての学生交流でした。伝統文化の漆扇子作りを体験し、学生は唯一無二の思い出に残る作品を作りました。

最終訪問地の北京では、初日に中国伝統文化の体験、伝媒大学訪問、夜には大規模な歓迎レセプションが行われました。私は体調不良者の対応で一日ホテル滞在でしたが、レセプションでは、日中友好協会の団体が最前列の席を案内される等、最も良い待遇を受けたとのことでした。これまで協会の方々が築き上げてきた信頼関係の重みを感じたと同時に、今後も日中友好の交流を決して絶やしてはいけなと強く感じました。

翌日には万里の長城、故宮を訪問し、北京の観光名所を満喫。中国の歴代皇帝に興味のある学生は熱心にメモをとり、本物の紫禁城に目を輝かせていました。最終日には、1669年創業、中国で最も歴史のある漢方薬の名店「同仁堂」の大型体験型店舗を訪問。24時間購入可能な漢方薬の自動販売機があり、多くの学生が実際に購入を楽しんでいました。最後に中国の有名な写真家、羅紅氏の美術館を訪問し、中国の壮大な景色を写真の展示で拝見することができました。

以上、今回6泊7日のスケジュールでしたが、学生さんは終始日本学生代表の自覚を持ち、無事何事もなく全員で日本に帰国することができました。

最後に、佐々木団長が今回の団長挨拶で引用された、毛沢東氏の有名な言葉を記します。今後も若者の日中交流が絶えず続いて行くことを願っています。

“世界是你们们的，也是我们的，但是归根结底是你们们的。你们青年人朝气蓬勃，正在兴旺时期，好像早晨八、九点钟的太阳。希望寄托在你们身上。”

“世界は君達のものでもあり、我々のものでもあるが、しかし帰するところ君達のものである。君達若人は澠刺として、まさに伸び盛りの時期にあり、朝の8時、9時の太陽のようである。希望は君達に託されている。”